

授業科目名	ジャズハーモニーV	担当形態	演習		
		開講学期	春学期		
担当教員	水野 修平	単位	1	年次	3

＝授業のテーマ及び到達目標＝

ジャズハーモニー（I～IV）で学んだことを確実なものにしつつ、追加、補足事項も踏まえて、各自の専門楽器にて実践に結びつけられるようにする。

＝履修の条件と学習の方法＝

ジャズ・ポピュラーコースの学生（3年生）はジャズハーモニー（I～IV）を修得していること。
ジャズ・ポピュラーコースの学生でない場合は相応の内容を理解していること。

＝授業の概要＝

おそらくジャズのハーモニー、リズム、アーティキュレーションは現代音楽の中で最も多彩かつ複雑です。その構造、仕組みをハーモニー面からを中心として学んでいきます。題材として様々な曲を用いて、アレンジ、リハーモナイズを参考にしてハーモニーの可能性を探る。強いてはより良いサウンドを見つけ、総合的に音楽を捉えることが出来る力を身につけます。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス
(講義の目標や内容)の確認。編曲法。
- 2回 様々なスケール 1
- 3回 様々なスケール 2
- 4回 様々なスケール 3
- 5回 4thコード 1
- 6回 4thコード 2
- 7回 3ノートヴォイシング 1
- 8回 3ノートヴォイシング 2
- 9回 3ノートヴォイシング 3
- 10回 レフトハンド ヴォイシング1
- 11回 レフトハンド ヴォイシング2
- 12回 トライトーン・サブスティテューション1
- 13回 トライトーン・サブスティテューション2
- 14回 トライトーン・サブスティテューション3
- 15回 まとめ

＝テキスト（必携）＝

=参考書・参考資料（必携）=

(ジャズセオリー ATN 出版)(ジャズピアノブック ATN 出版)などを用いて進めていきます。
その都度伝えます。

レポート提出、小テストおよび出席数（率）で評価します。
出席、テスト点数、授業内での理解度に問題が無ければAを。以下、それに応じてB～。